

■コメント

1 インフルエンザ

例年、冬休みが終わり学校が始まると流行が拡大する傾向があり、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第1週 A型:647人、B型:63人

2 マイコプラズマ肺炎

主な症状は、発熱や全身の倦怠感(だるさ)、頭痛、咳などで、咳は熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)続くのが特徴です。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

3 感染性胃腸炎

例年、冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。こまめな手洗い、次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒液を用いた便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定點当たり	平過均(5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定點当たり	平過均(5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	665	30.23	/		小児科	突発性発しん	1	0.09	0.08	
	インフルエンザ	243	11.05	6.08			ヘルパンギーナ	-	-	0.12	
	新型コロナ(COVID-19)	4	0.18	/			流行性耳下腺炎	-	-	0.01	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.09	0.07		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	咽頭結膜熱	-	-	0.51			流行性角結膜炎	-	-	0.54	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	0.64	0.42			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	7	0.64	3.29			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	2	0.18	0.16		基幹	マイコプラズマ肺炎	23	3.83	1.06	
	手足口病	1	0.09	0.43			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.18	0.02			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

今週(第1週)は、年末年始の休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、前週(第52週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

急性呼吸器感染症の基本的な感染対策

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症をはじめとする急性呼吸器感染症の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」などが有効です。

高齢者や基礎疾患のある方が感染すると、重症化する可能性があるものもあります。高齢者や基礎疾患のある方と会ったり、通院したり、大人数で集まったりするときは、マスクの着用を含めた感染症対策が有効です。

【主な予防方法】

- (1)外出後の手洗い等
- (2)適度な湿度の保持
- (3)十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- (4)人混みや繁華街への外出を控える
- (5)室内ではこまめに換気をする
- (6)ワクチン接種

【参考】令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症(ARI)
総合対策(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2025.html>



急増減			前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減			前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減			前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	22
小児科定点数	11
眼科定点数	3
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均
(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

報告はありません。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ (COV) (ARI)	新型コロナ 感染症 (ID)	RSV ウイルス	A群溶血性 球菌咽頭炎 (咽頭結膜熱)	感染性胃腸炎 (頭痛)	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(感染性胃腸炎)	
報告数	広島市	第49週	3,088	1,530	19	11	6	86	76	5	4	8	4	1	2	—	13	—	—	13	—
		第50週	3,000	1,469	14	18	—	81	109	8	6	10	6	—	—	5	—	—	14	—	
		第51週	2,714	1,237	26	13	13	53	74	9	5	8	5	1	—	—	2	—	—	12	—
		第52週	2,661	797	16	19	7	62	84	5	6	2	5	1	—	—	8	—	—	12	—
		第1週	665	243	4	1	—	7	7	2	1	2	1	—	—	—	—	—	23	—	
定点当たり	広島市	第49週	88.23	43.71	0.54	0.50	0.27	3.91	3.45	0.23	0.18	0.36	0.18	0.05	0.09	—	1.63	—	—	2.17	—
		第50週	85.71	41.97	0.40	0.82	—	3.68	4.95	0.36	0.27	0.45	0.27	—	—	0.63	—	—	2.33	—	
		第51週	77.54	35.34	0.74	0.59	0.59	2.41	3.36	0.41	0.23	0.36	0.23	0.05	—	—	0.25	—	—	2.00	—
		第52週	76.03	22.77	0.46	0.86	0.32	2.82	3.82	0.23	0.27	0.09	0.23	0.05	—	—	1.00	—	—	2.00	—
		第1週	30.23	11.05	0.18	0.09	—	0.64	0.64	0.18	0.09	0.18	0.09	—	—	—	—	—	3.83	—	
全国		第51週	77.25	32.71	1.24	0.63	0.32	2.76	5.34	0.39	0.06	0.51	0.22	0.02	0.03	0.01	0.60	0.03	0.03	0.81	0.01
		第52週	73.43	22.77	1.32	0.73	0.37	2.80	5.59	0.41	0.06	0.43	0.22	0.03	0.03	—	0.54	0.01	0.03	0.71	0.01

■病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	A型インフルエンザウイルス	A型インフルエンザウイルス	(ビクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSVウイルス	B型RSVウイルス	ヒトメタニコモウイルス	パラインフルエンザウイルス1型	パラインフルエンザウイルス2型	パラインフルエンザウイルス3型	パラインフルエンザウイルス4型	エンテロウイルス	ラインノウイルス/アデノウイルス	
第48週	17	16	15												1	4	1
第49週	16	12	7	1	1										4	1	
第50週	18	18	9			5					1	1			6	1	
第51週	15	8	4	1							1				3		
第52週	18	11	6							2					4	2	

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査:広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで [広島市 病原体](#)  [検索](#)

●感染症予防のために手を洗いましょう●

感染症から身を守るために、石けんと流水を用いた手洗いがとても重要です。外から帰ってきたとき、調理や食事の前、トイレの後、オムツを処理した後など、正しい方法でしっかりと手を洗いましょう。



1. 流水で汚れを簡単に洗い流します。
2. 石けんをつけて十分に泡立て、手のひらを合わせてよくこすります。



6. 親指を反対の手でね
7. 手首も反対の手でね
8. 流水で石けんと汚れを十分に洗います。
9. 最後に清潔な乾いたタオルかペーパータオルでしっかりとふきます。



【参考】正しい手の洗い方(感染症予防のために手を洗いましょう)(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/1005995/1011233.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp